



今年、2019年の春でUターンをしてから丸5年になる。

新卒で勤めた会社を退職し、先輩や同期、大学時代の友人へ挨拶を済ませ、急いでアパートを引き払って長岡駅に降り立った日が懐かしく感じられる。3月末のこと、出発の際に眺めたトウキョウの桜は満開だったが、こちら長岡は悠久山はもちろん、福島江の桜もまだもう少しといった具合で、帰郷の喜びと共にようやく人生に春を迎えるような気持ちになっていた。訪れたような気持だった。

無事Uターンを果たした後、初めての転職先の会社での仕事を覚えるのに努めながら、離れ離れだった家族や地元の友人との時間を満喫していたが、ふと「次は何をしよう」という思いが沸き上がるようになっていた。当時あまりにも“遠距離”の関係を続けていたために彼女（現・妻）との関係が芳しくなかったのが修復の必要があったけど、これは別として。

UターンやIターンを望むひとの大多数は、何らかの理由があってそれを望んでいると思う。別にその理由が超具体的かつ長期的な人生設計に裏付けられている必要はないのだが、あらかじめ色々と思案しておくとその後が楽になるかもしれない。

私は地元にとっぷりつかることにした。地元の友人が「ちょっとめんどくさい」と話す祭りのメンバーやさまざまな地域のコミュニティに属してみた。トウキョウと家の往復しかしてこなかった私にとって、地元の人間との無数の出会いは帰郷の感を強くしてくれたし、共

に生きていく仲間ができたような心強い気持ちにしてくれた。会社での働き方も同じだ。Uターンを考え始めたころ、いつか辞めるつもりと心に秘めながら働くのは苦しかった。

UIターンを考えている皆さんは、どうぞなりたいうようにやりたいように。望みがあったら叶えよう。タイミングは人それぞれ。準備が必要なら準備を始めよう。動けば動いたなりの結果がついてくる。

踏みとどまっても明日は来る。